

# CHRISTOPH HEUSGEN

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU

- Chairman of the Munich Security Conference
- Permanent Representative of the Federal Republic of Germany to the United Nations (2017-2020)
- Foreign and Security Policy Advisor to Federal Chancellor Angela Merkel (2005-2017)



Christoph Heusgen は外交官であり、ミュンヘン安全保障会議の議長を務めています。彼は 10 年以上にわたり、アンゲラ メルケル首相の外交および安全保障政策の顧問を務め、海外へのすべての旅行に同行しました。彼のアメリカとの緊密な関係と安全保障に関する彼の包括的な概念は、過去数十年にわたって彼のキャリアを形成してきました。Christoph Heusgen は、上層部に至るまで、国際的に非常によくネットワーク化されていると考えられています。

Heusgen (\* 1955) は、サンクト ガレン、ジョージア サザン大学、およびパリのソルボンヌ大学で経済学を学び、博士号を取得した後、1980 年に外務省に入省しました。当初、彼はシカゴの総領事館に勤務し、その後パリの大使館に勤務しました。1988 年から 1990 年まで、彼は独仏協力のコーディネーターであるライナー バーゼルの個人秘書であり、その後、EU 政策部門の副部門長を務めました。1993年から1997年まで、ホイスゲンはトーマス・マトゥセクの下でクラウス・キンケル外務大臣の副局長として働き、その後、閣僚補佐として欧州副局長になった。1999 年から 2005 年まで、ホイスゲンはブリュッセルの欧州連合理事会事務総局で、当時EUの共通外交および安全保障政策の上級代表であったハビエル ソラナの事務局長および政治スタッフの責任者を務めました。

2005 年 11 月からは、大臣官房長官として、連邦首相府の外交政策を担当する第 2 部門を率い、アンゲラ メルケル首相の外交および安全保障政策の顧問となりました。2017 年 7 月、ホイスゲンはドイツ連邦共和国の国連常駐代表に就任しました。2021 年 6 月 30 日、ホイスゲンは外務省を去り、2022 年の初めにミュンヘン安全保障会議の議長としてヴォルフガング イッシンガーの後を継いだ。

Christoph Heusgen はサンクト ガレン大学の名誉教授であり、ミュンヘン安全保障会議の理事会の議長を務めています。

彼の作品は数々の賞を受賞しています。彼は、2006 年からオーストリア共和国への功績により大勲章金賞を受賞しており、2009 年からはポルトガル功労勲章のグランドオフィサーであり、2015 年にはドイツ軍の名誉十字章を受賞しています。金。

## Topics

- Europe
- Government
- Politics